

【防府市】地域ぐるみの防災キャンプ

《ねらい》

南海トラフによる地震・津波を想定し、「地域協育ネット」等が主体となり、学校・保護者・地域・関係機関が連携した防災訓練や避難所での宿泊体験学習、救急救命訓練等を実施することにより、児童生徒が災害発生時において、正しい知識をもとに的確に状況を判断し、自ら安全に行動することはもとより、他の人や社会に貢献できる心と実践力の育成を図る。



実施内容

- 1 実施日時：平成27年8月29日（土）・30日（日）
- 2 実施場所：新田小学校体育館
- 3 参加者：新田小学校児童32名、華陽中学校生徒22名、保護者24名、教職員31名
新田地区住民42名、市防災担当部局3名、防府市教育委員会6名
山口県教育委員会2名

4 プログラム

【1日目】8月29日（土）

13:00	14:30	15:00	17:00	18:30	19:30	20:30	21:40
避難訓練	【研修Ⅰ】 避難生活のルールづくり	【研修Ⅱ】 [講義] 下関地方気象台	夕食	【研修Ⅲ】 [講話] 陸上自衛隊 消防署	【研修Ⅳ】 寝床づくり	振就 り寝 返準 り備	就 寝

【2日目】8月30日（日）

6:00	6:40	7:00	8:00	12:00	12:20	12:30
起床	ラジオ体操	避難訓練	清掃活動 朝食	【研修Ⅴ】 [体験学習] 陸上自衛隊 消防署 N T T	振り返り	閉会行事 引き渡し訓練

5 活動の様子

1日目

《避難訓練》

市の避難勧告（想定）を受けて、自宅等から、徒歩または自転車で避難所（新田小）に避難しました。避難所の受付では、避難所カードを記入しました。



〔看板〕



〔避難所へ避難〕



〔避難所受付〕

《避難所生活のルールづくり》

2日間、一緒に活動するグループで、避難所生活でのルールについて話し合いました。その後、給水車から給水を行いました。



〔避難所生活を考える〕



〔避難所生活を考える〕



〔給水車から給水〕

《講義（下関地方気象台）・夕食》

下関地方気象台から、「津波と高潮のちがい」、「雲のできかた」や「緊急地震速報等の対応」等の講義を受けました。

夕食は、非常食（アルファ化米）をいただきました。



〔避難所生活を考える〕



〔津波と高潮のちがい〕



〔夕 食〕

《講話（陸上自衛隊、市消防本部）・寝床づくり》

陸上自衛隊や市消防本部から、「自衛隊災害派遣事業について」、「防府市豪雨災害について」講話を受けました。

その後、ダンボールを使った寝床づくりを行いました。



〔豪雨災害について〕



〔寝床づくり〕



〔寝床づくり〕

2日目

《ラジオ体操・避難訓練》

中学生のリーダーの指導の下、ラジオ体操をしました。

その後、津波を想定し、垂直避難訓練を行いました。



〔ラジオ体操〕



〔垂直避難訓練〕



〔朝食準備〕

《体験学習》

陸上自衛隊、市消防本部、NTTによる講義・演習を受けました。



〔自衛隊資機材体験〕



〔災害用伝言ダイヤル〕



〔ロープワーク〕



〔心肺蘇生法〕



〔救急法〕



〔引き渡し訓練〕

《児童生徒アンケート結果》

評価項目	とても	よく	少し	あまり
災害（地震や津波）のことがわかりましたか。	45	9	0	0
避難の大切さがわかりましたか。	52	2	0	0
防災キャンプで学んだことが今後の生活に役立つと思いますか。	50	4	0	0

《感想》

- 中学生のリーダーの「ここはこうやるんよ」という教え方がうまくて、ぼうさいキャンプの思い出になりました。ぼくは、しょう来、消ぼうしになろうと思います。（小3男子）
- 地しんやつなみがとてもおそろしいことを実感しました。約50cmのつなみでも大人の人を流してしまいます。ひなさんが大切だとよくわかりました。（小3女子）
- NTT西日本の「171を忘れない」ということがはっきりわかりました。三角きんを使って応急しょちをしました。できなかったことは、家でも練習したいです。（4年女子）
- さい害などにあったら、みんなで協力し合い、助け合うこと、自分の命をいつでも守れるように準備しておくことなど、これからの生活に生かしていきたいと思います。（5年男子）
- 今回の活動でひなんしている人たちの大変さ、地震やつなみのおそろしさを知ることができてよかったです。いつ、どこで、何が起ころてもいいように自分の身は自分で守ることを心がけたいです。（5年男子）
- 心肺蘇生は災害時でなくても必要になります。呼吸の確認、気道確保、AEDの使用法など、単語は知っていても、正しいやり方は知らなかったなので、学べてよかったです。（中2男子）
- 今回の体験で東日本の震災で被災された方の気持ちを少し知ることができました。寝るのも固い床で、知らない人に囲まれる生活は辛いだろうと思います。（中3女子）
- 安心して避難できたのは、見守ってくださった方のおかげなのでとても感謝しています。津波や液状化の実験、体験談を聞いたり、人や自分の命を守ったりする技術を学びました。学んだことを復習し、困っている人を助けられるような人になります。（中3男子）
- 防災について家族で話したり、家でその話題が出たりすることはあまりありませんでした。この体験で覚えたことを忘れないようにしたいです。友達にも災害の怖さや現場で仕事をしてくださっている方々のことを知らせたいです。（中3女子）